

経営方針と対処すべき課題（有価証券報告書より）

① 目指す姿と数値目標

パーパス

森林を健全に育て、その森林資源を活かした製品を創造し、社会に届けることで、希望あふれる地球の未来の実現に向け、時代を動かしていく

連結売上高
2.5兆円以上

温室効果ガス削減
70%以上

温室効果ガス削減
50%削減

保有株式縮減
1,200億円

② 中長期の経営戦略

1. 資本効率向上

非コア資産売却・資産スリム化を進め、コア事業に経営資源集中。
ネットD/E1.0倍以内を目指す

3. サステナビリティ促進

石炭使用ゼロ、再生可能エネルギー拡大。2040年度スコープ1,2正味ゼロカーボン化を目指す

2. ポートフォリオ転換

紙包装などの成長事業・エリアへ進出加速。木質バイオマス事業を新たな柱に育成

4. 木質バイオマス展開

セルロースナノファイバー、木質由来糖液・エタノール、医薬品開発など新素材事業化推進

③ 対処すべき課題

① 経営環境の厳しさ対応

- ・ 原燃料価格・人件費・物流費高騰への価格改定と事業構造見直し強化
- ・ 国際情勢不透明下での事業継続確保

② 既存事業の構造転換

- ・ 印刷用紙などの需要減退への対応。新製品開発・成長事業への投資集中
- ・ 不採算事業の撤退基準厳格化。健全で強靱なポートフォリオ実現

③ 新規事業の早期事業化

- ・ 木質由来糖液・エタノール等の量産化設備導入で事業化加速
- ・ 医薬・ヘルスケア分野での事業化。2024年7月に第一種・第二種医薬品製造販売業許可取得

面接で使えるポイント

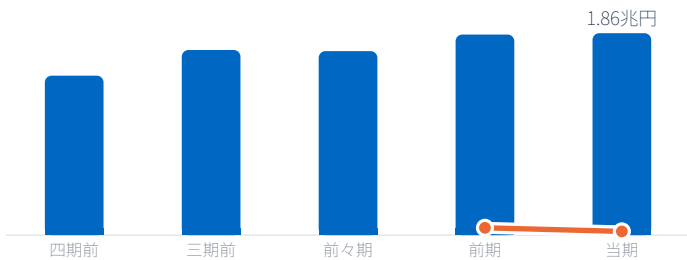
- ・ 1873年創立から150年以上、森林資源を核とした事業展開で成長。2030年度2.5兆円以上売上高を目指す
- ・ 木質バイオマス・CNFなど革新的素材開発。プラスチック代替で環境課題解決に貢献
- ・ 2040年度スコープ1,2正味ゼロカーボン化。自社林5,500億円の経済価値評価で自然資本会計推進

王子ホールディングス株式会社

パルプ・紙 | プライム（内国株式） | 決算期 3月31日 | ...

証券コード 3861

業績の推移（売上＝棒／営業利益＝線）



※営業利益は直近2期のみ開示（有報の様式変更による）

暗記する数字3つ

連結売上高
1.86兆円

営業利益率
1.9%

財務健康度
23点 / 100点

将来性 曇り / 就活偏差値 62.7（当サイト算出の参考指標）

平均年収
850万円

パルプ・紙内 1位/24社

平均年齢
44.5歳

パルプ・紙内 5位/24社

平均勤続
15.6年

パルプ・紙内 17位/24社

女性管理職
14.7%

パルプ・紙内 1位/21社

男性育休
100.0%

パルプ・紙内 2位/21社

※平均年収は提出会社単体・有価証券報告書ベース。順位は同33業種内の掲載企業での比較。

ここから下は自分で書く（面接で話すこと）

志望動機の核

上の数字・事業と接続して書く

自分の経験との接点

逆質問メモ

※1つはデータ起点で（例：勤続年数が長い要因は…）

直近ニュース十一言

参考：【レポート】王子ホールディングス株式会社とともに横浜市立岡村

王子ホールディングス株式会社 企業研究シート

出典: 企業スコープ (kigyو-scope.jp) / 金融庁EDINET 有価証券報告書

将来性・就活偏差値・財務健康度は当サイト算出の参考指標です。

投資・就職の判断は必ず一次情報をご確認ください。 作成日 2026-08-05

